

新しく購入した
絵本のご紹介
2025/26 秋冬



松原ひかり幼稚園



「夜からの手紙」 nariyuki (なりゆき) 作

なんで夜は暗くて、おぼけがでるの？
なあちゃんは、夜がきらい。だから夜に「きらい」という手紙を書きました。すると、夜から返事が来ます。「生まれてはじめてお手紙をもらって、とってもカンゲキしているの。もっと、なあちゃんのこと、知りたい」——。夜が暗い理由、おぼけがでる理由を考えたことはありますか？「なあちゃん」と「夜」の不思議な文通を描いた、モノクロ絵本。第27回えほん大賞絵本部門大賞受賞作品。



「シカしかいない」 キューライス 作

シカ シカ シカ シカ…どこをみてもシカしかいない！
探し絵のようにすみずみまで見入ってしまう、ちょっとシュールで不思議な魅力のシカ絵本！ シカの顔がかわいい〜！ シカばかり見入ってしまいます。でも本当に、シカしかいない…？ MOE絵本屋さん大賞入賞



「くも」 しおたにまみこ 作

最新作！

「くもと目があったことはありますか？」空に現れる「くも」。大きな空を悠々と歩くその姿を女の子はいつも見つめています。晴れの日、雨の日、夕暮れどき、嵐の夜……、くもはなにを考えているのかなあ、楽しいのかなあ、ともだちになれるかなあ、と。
「くもたちは わたしたちを みている きが します。わたしたちが くもを ながめるように、・・・たぶん」この本を読んだ後に、雲の見え方が少し変わるかもしれません。くもの絵がなんともリアルで子どもの心に刺さるに違いありません。



「えっさ ほしいさ」 たなか ひかる 作

11月新刊！

「えっさ！ ほしいさ！ えっさ！ ほしいさ！」
なにやら、みんなが駆けていく！
「ぞわぞわ ぞわわわ」たちまち形が変化する！？
とうもろこし、ばなな…いちご？…これなんだ？
カラフルな世界をリズムに乗って楽しめます。小さいお子様も楽しめます！



「つみきくんとつみきちゃん」 いしかわ こうじ 作

ある日、つみきくんの家のとなりに、つみきちゃんがやってきました。ふたりはなかよく公園へ遊びにでかけます。たくさんの遊んで楽しく遊んでいると、わんちゃんがやってきて、遊具をひとりじめしようとするのです。そこでつみきくんとつみきちゃんは……？ ふたりでいろんなものに変身します！ おもしろくて、心あたまる絵本。美しい色彩と形も魅力です。 小さいお子様も楽しめます！



「ニンジンジン」キューライス 作

にんじんの形をしてる不思議な生きもの、ニンジンジン。
そのニンジンジンを食べるために追いかける、2匹のウサギたち。
ウサギはいろいろな方法でニンジンジンを捕まえようとするが、
ニンジンジンは華麗に逃れていく！ ニンジンジンは捕まるのか!?
口ずさみたくなる七五調は、読み聞かせにもぴったりです。
MOE絵本屋さん大賞・TSUTAYAえほん大賞入賞



「ぎょうざがいなくなりさがしています」玉田美知子 作

「ほんじつ ごご2じごろ おおばまち にらやまの ぎょうざが いなくなり さが
しています。とくちょうは ひだが 5つある ひとくちサイズの やきぎょうざです。
くりかえします……」
えっ？ ぎょうざが消えた!? なにがあったの？ ぎょうざ、どうしたの？
考えをめぐりにめぐらせる、としおくんでしたが……。
第43回講談社絵本新人賞・MOE絵本屋さん大賞新人賞など数々の賞を受賞



「きょうりゅうかくれんぼ」 アレックス・ラティマー 作 間かせ屋。けいたろう 訳

読み聞かせで大人気！ 人気恐竜のティラノサウルス、ブラキオサウルス、トリケ
ラトプスなど様々な恐竜たちがかくれんぼ。
海や森、空など、さまざまな場所に隠れた恐竜たちと一緒にさがしてみよう！
”親子でもお友達どうしでも楽しめる参加型絵本”，子どもたちが競って探します。
鮮やかな絵がたくさん！ 小さいお子様も楽しめます。



「おかしなまちのおかしなはなし」いわさきさきこ 作

「おかしな まちの みんなは いつもけんかばかり。 そこにわがしでも ようがしで
もない だれかが やってきて……。 いったい あなたは だあれ？」 毎日いろい
ろなお菓子に変身して不思議な研究をしているようだけれど、いったいぜんたいそ
の正体は…？
お子様とのクッキングの前に読んでみるのもいいかもしれませんね。
第11回日本童画大賞絵本部門大賞受賞作



「ペネロペ ルーヴルびじゅつかんにいく」

文：アン・グットマン 絵：ゲオルグ・ハレンスレーベン 訳：ひがし かずこ

モナリザも登場! ペネロペのしかけ絵本最新作
ペネロペはパリのルーヴル美術館へおじいちゃんとでかけました。
モナ・リザ、スフィンクス、ミイラ、ミロのヴィーナス・・・たくさんの絵や像があっ
て素敵なおとこです。ペネロペはまた、いたずらを思いついたみたいです! ルーヴル美
術館の名品たちがたくさん登場します。
数々の名品を見て、感じたことをみんなでお話してみたいものです。

名画を見る!





「おばあちゃんのいえは ちょっぴりねん」 山崎 たかし 作

10月新刊!

冷蔵庫と思ったら・・・「なんや これは!？」
仏壇と思ったら・・・「なんや これは!？」
洋服だんすと思ったら・・・「なんや これは!？」
おばあちゃんの家は ちょっぴりねん・・・
いったい冷蔵庫はどこ? 小さいお子様も楽しめます。



「ぴっぴのふしぎな」 糟谷 奈美 作

どこからか、歌声が聞こえてきます。『きらきらくるくる しゅっしゅっ……』
ここは、丘の上のレストラン。聞こえてくる楽しそうな歌声はいったい誰が歌っているのでしょう。
歌の主は、この中に隠れているたくさんの小さな妖精“ぴっぴ”たち。不思議な道具を使って、あちらこちらに溢れるたくさんの色を探して集める小さな妖精“ぴっぴ”たち。いっぱい集めた色を持ってレストランの秘密の階段を下り、小さな扉を開けると、そこにはいったい何があるのでしょうか?
誰も知らない、気がつかない、秘密の扉の向こうにある不思議な世界。そんな、「見えないけれどある」ものを想像する楽しさ、見えなくても、まだ見たことがなくても、「きっとある。きっといる」と信じられるような美しい色と光が瞬くような夢の世界が、子どもたちの想像・創造する力、内面の世界を広げ深めます。一日の終わりに就寝前のひと時にぜひ、お子さまとこっそり、楽しんでいただきたい絵本です。
小さいお子様も楽しめます。



「新・おはなし名画シリーズ(24) 対訳 北斎の富士」 監修: 辻 惟雄 文: 西村 和子

名画を見る!

『おはなし名画』は「子どもが気軽に本物の芸術に触れる環境を作りたい」という思いから作られました。
絵が大きくて色も鮮やかな絵本画集で、名画とともに易しい文章で画家の生涯を辿ります。
「おうちで楽しめる芸術体験」として多くのご家庭で親しまれてきたようです。子供だからこそ本物を知ることが大切です。幼いころから良い絵を目にすることで、子どもたちの感性を伸ばすのに役立つに違いありません。
※日本図書館協会／全国学校図書館協議会の選定図書であり、学校教科書でも推薦されています。



「ケイティのはじめての美術館」

作: ジェイムズ・メイヒュー 訳: 西村秀一 監修: 結城 昌子

名画を見る!

元気いっぱい、しりたがりやの女の子・ケイティがまきおこす、びっくりゆかいな名画のなかの大冒険。絵の中に入ってっちゃいます。そこには、どんな冒険が待っているのか・・・子どもの生き生きとしたファンタジーを大きく育てる人気絵本シリーズ。この絵本を読んで、美術館に行ってみたくなったら、嬉しいです。絵の好きなお友だちは、ぜひ美術館へ行ってみてください。

